

大同大学 自分が変わる、未来を変える。

# DU就職力

大同大学では「実学主義」の教育と研究を通じて、人間力を土台に社会産業 界で発揮でき得る「実践力」を身につけます。4年間切れ目なく成長を続け た結果、広い業界から必要とされる人材となる。それが「DU就職力」です。

### 教養・専門・キャリア3分野の 相乗効果と産業界との太いパイプにより、 希望の就職が叶う

講義の中でも、課外においても常に「自己の能力理解と開発」を テーマに置き、学生は自身の力をどのような場面で生かすことが できるかを確認しながら学びを進めます。就職では、OBOGが培っ てきた産業界での評価と実績を足がかりに、その期待に応える在 学生の「真の能力への評価 | が高い就職率へと繋がっています。

就職率

(2020年度卒業生)

「機械・電気系]

[建築系]

[情報系]

# 就職実績

大同大学の2つの学部と10の学科・専攻コース、そして大学院はそれ ぞれ「実学主義」に根差し、社会のさまざまな分野で産業や生活の発 展に貢献し得る能力を身につけます。その結果、全ての学部が横断 的に、広い業界において活躍しています。











ソフトウェア 通信



広告·出版 マスコミ



# 工学部 School of Engineering

#### 機械工学科









#### [職種]

- 研究開発職 設計・技術職
- システム・ネットワークエンジニア職
- 生産・施工管理職
- 行政事務職(専門職)

#### 建築学科

#### 建築専攻/インテリアデザイン専攻









- 建築・土木設計職 生産・施工管理職
- コンサルティング職
- ●営業・販売職

#### 機械システム工学科









#### 「職種]

- ●研究開発職
- ●設計・技術職
- システム・ネットワークエンジニア職
- ●生産・施工管理職
- コンピュータ関連職

#### 建築学科 土木・環境専攻





#### 「融種]

- 建築・土木設計職
- ●生産・施工管理職
- コンサルティング職
- ●営業・販売職 ●行政事務職(専門職)

### 電気電子工学科











#### [職種]

- ●研究開発職
- ●設計・技術職
- コンピュータ関連職
- ・牛産・施工管理職
- 行政事務職(専門職)

#### 建築学科 かおりデザイン専攻







#### [職種]

- ●研究開発職
- ●生産・施工管理職
- ●建築・土木設計職 ●営業・販売職

### 情報学部 School of Informatics

#### 情報システム学科









#### [職種]

- ●システム・ネットワークエンジニア職プログラミング職
- コンピュータ関連職
- 総合事務職
- ●配送・物流関連職

#### 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻









### [職種]

- グラフィックデザイン職
- CGデザイン職
- 設計・技術職
- システム・ネットワークエンジニア職
- ●営業・販売職

#### 情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻







- プロダクトデザイン職
- 設計・技術職
- システム・ネットワークエンジニア職
- ●生産・施工管理職 ●営業・販売職

### 総合情報学科 経営情報専攻









## [職種]

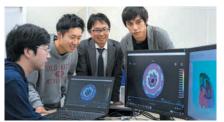
- ・販売職
- ●配送・物流関連職
- ●生産・施工管理職 システム・ネットワークエンジニア職
- ●総合事務職

# DU成長力

大同大学では、入学から卒業まで個人の成長を支え促進させる様々な取り組みがあります。学生はその機会に触れ、環境の中で仲間や教授と考えを深めながら、社会人基礎力である「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」を実践的に修得します。

# 産官学連携

大同大学では、産業界・行政などと一体となってプロジェクトに取り組み、新製品・新技術・新事業の創出を図る「産官学連携」を積極的に進めています。産業界との深い絆を持つ本学では、さまざまな企業や研究機関との豊富な事例があります。



# モータ研究に携わる 技術者の育成を担う

#### 大同特殊鋼㈱×電気電子工学科加納研究室

モータ研究の最前線基地として、2018年「大同大学モータ研究センター」を開設。次世代のモータ開発研究に取り組んでいます。



#### 使用者の抵抗感が少なく、 より安価な義手の開発に取り組む

(株)東郷製作所×機械システム工学科橋口研究室 不慮の事故、疾病などで手を失った人のための義 手の開発に、自動車部品製造の高度な技術を応用 し協働で開発を進めています。



#### 地元の企業と連携し、 ものづくりの サイクル・ダイナミズムを体感する

AnjoHeartsプロジェクト×情報デザイン学科岡田研究室 安城市の商工会議所を中核とした異業種連携プロ ジェクトとコラボレーションしオリジナルグッズ を制作する試みを行っています。

# アクティブラーニング

学生が主体となって、能動的に学ぶ授業の一つで、学生自らが、テーマを探す、体験する、調査・分析する、発表するなどの作業に取り組み PDCAを実践することで、自主性や社会人としての基礎力を醸成します。



まちづくりデザイン実習

#### 工学部建築学科土木・環境専攻

実際の地方都市をテーマに、具体的な都市開発の プランニングを行い都市の課題解決方法を見出し ます。



メディアクリエイティブ実習D

#### 情報学部情報デザイン学科

グループを組み、テーマ決めから準備・撮影・編集などすべての作業を協力して進め、一つの作品を作り上げます。



経営情報プロジェクト演習

#### 情報学部総合情報学科経営情報コース

自らテーマを決め、情報を集めて分析・発表する 過程で、社会と関わりながら難しさと必要性を実 感的に学習します。

# X(クロス)ラーニング

産学、学科専攻、学年を超えて交流し、課題に取り組むことで学生のデザインの感性とスキルを磨くプロジェクトが「X(クロス)ラーニング」です。先進的な企業とのコラボレーションによって創造される新しい価値を体感できる、「実学精神」をかかげる大同大学ならではの新たな教育・研究取り組みです。



# 委員会・クラブ・サークル活動

運動系や文科系などクラブ活動も盛ん。学生生活を支える委員会活動も学生の「考え実 行に移す力|を育みます。













# DUサポート力

# 1年次

# 2年次

- 就職力アップセミナⅠ・Ⅱ
- ・社会で求められる力とコミュニケー ションのポイントを知る
- ・大同生が活躍できる仕事を知る
- 就職力アップセミナⅢ・Ⅳ
- ・自分ならではのPRをするために行動する
- ・インターンシップ参加のための準備を行う



キャリア支援の初歩段階として、「自分への『気づき』」を促進するため、1年生前期から 2年生後期まで「就職力アップセミナ」を開催し、「自己分析・自己理解」、「社会で求め られる力」、「職業観」を学びます。

また、3年生が参加する企業対面式のイベントにも積極的に参加を勧め、早期から就職 に対する意識とアンテナを高くする取り組みを行っています。

●資格支援講座

●資格支援講座

### 資格支援講座

#### 学びの成果を求め、社会に求められる能力を身につけます。

卒業後、社会人となり働くことに備えて、より高い能力を身につけるため、「資格取得講座」「スキルアッ プ講座」「就職対策講座」など全37講座を開講。学生の関心も高く、学業と並行して資格取得に向けた 学びを進めるなかで、より専門性を深め、「実践的な知識」の向上にもつながっています。また、目的 を持ちその実現のために努力し、結果に結びつける過程を経て、社会に出るための自信を身につけ、 社会で必要とされる多様な知識とスキルを磨きます。

#### 【対策講座で目指せる主な資格】

- CAD利用技術者(2級)
- ●インテリアコーディネーター(1次試験)
- ●宅地建物取引士
- カラーコーディネーター(アドバンス・スタンダードクラス)
- CG検定ベーシック(クリエイター・Webデザイナー)
- ●機械設計技術者(3級)
- ●二級建築士
- ●秘書技能検定(2級)
- 危険物取扱者(乙種第4類)
- ●第一種・第二種雷気丁事十
- 第三種電気主任技術者



#### ● 臭気判定士

- ●基本情報技術者
- TOEIC対策
- ウェブデザイン技能検定(3級)
- インテリアプランナー
- ●ITパスポート
- ■3次元CAD利用技術者(2級)
- 応用情報技術者
- ●毒物劇物取扱者
- ■MOS試験(Word・Excel)

#### 学科別業界研究会

- フォローアップ講座
- ●インターンシップ(学外研修)



学生が在学中に、自らの学科・専攻で の学びを生かした将来のキャリアに関 連する職業体験を、キャリアセンター の仲介により一定期間(約10日間)、企 業で実施し単位を認定します。

また、近年企業に留まらず行政でも実 施が盛んな短期インターンシップも、 学生に周知・アドバイスを行い、学生 は職業体験から「職業観」「労働観」を 養成します。

#### 大学院生限定ガイダンス

#### 保護者向け就職セミナ

学生の保護者に向けて、就活生を持つ 保護者が知っておきたい就活ルールや 心構え等を伝えています。

#### ●個別面談・相談



資格支援講座

「実学主義」の教育と研究を通じて培った成果を産業界と社会で発揮する。それが「就職」です。 大同大学では、産業界との太いパイプを生かした、さまざまなサポートプログラムやイベントを用意しており、保護者・教員・キャリアセンターが一体となり就職をサポートできる体制を提供しています。

# 3年次

# 4年次

## 学内合同業界研究会



「大同生を採用したい!」と考える500社を超える企業・団体が参加する学内就職活動最大のイベントです。参加の約5割の学生がここでの出会いをきっかけとして、選考・就職とつながっており、企業様からも高い評価をいただける機会となっています。

# ●学内地元企業 業界・企業研究会

愛知県産業振興課や地元商工会議所とタッグを組み、独自の技術や特色を持つブランド 企業とのマッチングを図るイベントです。

# OBOG業界・仕事研究会

各業界に就職し活躍するOBOGと、採用に関わるご担当の方を招き「努力」「やりがい」などを語っていただくことで、学生は「能力を高め働くこと」「能力を最大限に活かすこと」について理解し業界研究における視野を広げます。

# ●就職ガイダンス



4月から継続的に就職ガイダンスを開催。これまで「就職力アップセミナ」で吸収してきた基礎力をもとに、実践的な就職活動のテクニックを修得します。

#### 学内合同企業説明会



### 学内個別企業説明会 (オンライン&対面)

企業と学生を直接つなぐ取り組みとして、春から秋にかけて実施。(大学ホームページから申し込み)



#### ●就職内定者ガイダンス

労働法の基礎知識を学び、早期退職を 避けるための心得について理解を深め ます。



# 学長メッセージ

# 企業の皆様へ

大同大学は1939年に設置された大同工業学校を基に、1964年中部産業 界の要請と支援によって大同工業大学として設立された大学です。福澤桃 介翁を学祖として、終始一貫、社会の要請に応える実学の高等教育機関と して努力してきました。

2009年、創基70周年を機会に、急速に変化する産業と社会の要請に応え、 教育研究の幅を広げる意味を込めて、大同工業大学から大同大学へと校名 を変更しました。2014年4月には創立50周年を迎え、2015年には創立の原 点にもどり、大学の理念として「実学主義」を掲げることにしました。

本学は学生一人ひとりの才能を最大限に引き出し、入社後は企業に喜ば れ、社会に役立つ人材となることを目標に全教職員が力を合わせて教育活 動を行っています。幸いにも大学創立以来、企業の皆様のご理解とご支援 を頂き、多くの卒業生を採用頂きましたことに心より感謝致します。

私どもの努力の結晶である本学学生に対し、これからも暖かいご支援を 賜りますことをお願いすると同時に貴社のご発展をお祈り致します。



学長神保睦子

JIMBO MUTSUKO

#### PROFILE

1991年3月、名古屋大学大学院工学研究科博士後 期課程単位取得退学。その後、大同工業大学に赴 工学部電気電子工学科教授、大学院工学研究 科修士課程電気・電子工学専攻専攻長、電気電子 工学科学科長などを経て、2017年4月、大同大学 学長に 就任。

日本磁気学会副会長などを歴任。専門は、電気電 子工学。

# キャリアセンタースタッフ

### 社会経験豊富なスタッフが学生一人ひとりを見守りサポート

ひと口に「就職活動」と言っても、その道のりは長く、その過程・場面で学生が直面する問題もさまざまです。キャリアセンター常駐のスタッフは総勢10名。それぞれ豊富な知識と専門の資格を有しており、学生一人ひとりの個性を尊重し、強みを生かすサポートを行うとともに、指導教員や就職担当教員と連携しながら、学生の納得感ある就職のため、学年に関わらず見守り、支え続けています。





センター長 溝口正信 (機械システム工学科/教授)



副センター長 岡田 心 (情報デザイン学科/准教授)

錦織 整 (キャリア支援室長) 若林貴昭 (主査) 末永知子 (書記) 濱田典子 (書記) 岡松久朗 (特別嘱託職員)

藤田祐子 (キャリアアドバイザー) 森本曜子 (キャリアアドバイザー) 加藤あや子 (キャリアアドバイザー) 後藤由美 (キャリアアドバイザー) 近藤理恵 (特別嘱託職員)



# 就職指導担当

#### 〈工学部〉

宮本潤示(機械工学科)

大嶋和彦 (機械システム工学科)

大澤文明(電気電子工学科)

髙 柳 伸 一 (建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

2023年3月卒業生担当 木全博聖 (建築学科 土木·環境専攻)

2024年3月卒業生担当 棚 橋 秀 行 (建築学科 土木:環境専攻)

棚村壽三 (建築学科 かおりデザイン専攻)

#### 〈情報学部〉

君山博之(情報システム学科)

上岡和弘(情報デザイン学科 メディアデザイン専攻)

岡田 心(情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻)

小澤茂樹(総合情報学科)

# 求人受付方法

# **Q** 求人受付NAVI

# https://www.kyujin-navi.com/uketsuke/

- ■参加大学は「参加大学一覧」よりご確認いただけます。
- ■すでにID・パスワードをお持ちの場合は、同じIDでご利用 いただけます。
- ■初めてご利用いただく場合は、新規ID発行「初めてご利用 の場合はこちら」より登録を行ってください。

#### 送信完了までの流れ

**MENU** 

求人登録

求人票を登録します

登録内容確認

登録した内容を確認します

地区選択

送信大学の地区を選択します

送信大学選択

送信大学を選択します

▼ 学科選択

送信大学ごとに学科指定をします

▼

送信完了これで送信完了です





ものづくりの基礎/機械設計・CAE/材料・表面工学/加工の基礎・応用/熱流体・エネルギー

#### 産業界に貢献する中堅機械技術者を養成して半世紀

機械工学科は1964年に設置以来、真剣にものごとを感じ取ろうとす る意欲、実直に仕事に打ち込み、やる気がある学生を育てて、中部圏 の企業から高い信頼を得ています。

#### 専門分野の素養を拡げる基礎教育

機械工学の3大基幹科目である、材料の強度と設計・材料と加工・エ ネルギーの分野に分けて基礎知識を身につけ、機械の仕組み、構造お よび機能などを分析・設計および製造するために必要な専門基礎教育 を徹底させています。

#### 問題の探求や解決能力を身につけさせる

高度なコンピュータ機能を活用した機械設計の基礎から応用までを3 次元ハイエンドCADやシミュレーション解析ソフトおよびCAMによ る機械加工などを利用した実践的な演習によって創造的な思考をもっ たデザイン能力を発揮でき得る知識と応用技術の活用方法について教 授しています。

#### 実践教育によって自律性の豊かな技術者の育成

実験・実習、演習や卒業研究・卒業設計などのゼミ教育を通して、学 びの知識と技術を駆使し、これからの時代に必要な自ら学び、考え、 行動する「自律性」を持った学生の育成をめざしています。

### 専門科目

#### 専門基礎科目

線形代数1·2、基礎物理A·B、化学1·2、数学基礎、解析学1·2·3、常 微分方程式、力学1・2・3、基礎工学実験、機械数学1・2

#### ●専門科目

機械入門セミナ、機械セミナ、工業力学、機械力学基礎、要素・機構設計学、 材料力学基礎、熱力学基礎、流体力学基礎、計測工学、加工学基礎、機械材 料学基礎、制御工学基礎、電気工学、応用機械工学1・2、数値計算法1・2、 材料力学、材料強度設計学、制御工学、機械設計学、シミュレーション工学、 自動車工学、熱エネルギー工学、熱移動工学、流体力学1・2、航空宇宙工学、 表面加工学、溶融加工学、機械加工学、変形加工学、機械材料学、機能材料 工学、環境工学、CAE入門、基礎機械製図、CAD演習1·2、応用設計演習1· 2、機械製作実習1・2、機械工学実験1・2、品質管理、工業経営論、科学 技術史と技術者倫理、知的財産権論と情報倫理、インターンシップ(学外研 修)、総合セミナ、機械創造工学セミナ、卒業研究

#### ●専門教育科目に関する資格

機械設計技術者/CAD利用技術者

#### 専任教員紹介 (2021年10月1日現在の教員組織を示す) 神崎 隆男 教授 大気・海洋中での乱流輸送現象に関する研究 コンピュータを用いた流れ・熱の解析と可視化、流体音響に 白石 裕之教授 関する研究、宇宙レーザー推進システムの基礎的研究 高田 健教授 金属中の微量元素の存在状能と強化機構への影響の研究 速度論に基づく材料組織と熱加工プロセスの最適化に関する 田中 浩司教授 蔦森 秀夫教授 プレス成形シミュレーションの高精度化 德納 一成教授 鉄鋼及び非鉄金属材料の機械的性質に関する基礎的研究 塑性加工法、材料試験の高度化、CAEの利用技術に関する 西脇 武志 教 授 安郭教授 鋳造CAEにおける湯流れ凝固解析の精度向上に関する研究 前田 工作機械用ステージの超精密位置決めに関する研究、流体軸 杣谷 啓 准教授 受を用いた高速スピンドルの高速安定性向上法に関する研究 航空機における着氷現象に関する研究、テクスチャ表面にお ける潤滑液の流動状態の調査 坪井 涼 准教授 X線・中性子回折を用いた応力・ひずみ測定、超伝導線材の 町屋修太郎 准教授 性能およびひずみ特性評価 難削材の被削性に関する研究、切削工具の開発研究、生産性 萩野 将広講師 向上に寄与する最適化に関する研究 宮本 潤示講師 プラズマ窒化に関する研究、硬質薄膜に関する研究



#### キーワード ICTのわかる機械技術者/機・電・情のハイブリッド型技術者/デジタルものづくり/輸送システム

#### 機械・電気・情報をカバーする広い視野!

機械システムやロボットを考えるためには、機械・電気・情報にまたがる幅広い専門分野の知識が必要です。システムを構成したりロボットを作ったりする過程を通し必要な事項から順次学習を積み上げることで、工学の基盤領域における広い視野と技術のポイントを押さえる力を養成しています。

#### "ものづくり"だけでなく、操る力も!

CAD/CAM/CAEシミュレーション解析を利用した設計、工作・加工、プログラミング、制御、センサーなど、機械システムやロボットを題材に活用して、現代の"ものづくり"技術だけでなく"ものを操る"技術まで体系的に教育しています。

#### 機械システム、ロボットの豊富な実習経験と実行力!

機械システムの要素技術や産業用ロボットを用いた実習に多く時間を 割く実践的なカリキュラムにより、その基本構造・機構に関する知識 から先端技術まで、そして安全に関する理解も着実に身につけていま す。学生は、機械・電気・情報という工学の広い領域において、自ら 設計や製作ができる行動力があります。

#### 専門科目

#### ●専門基礎科目

線形代数1・2、基礎物理A・B、化学1・2、数学基礎、解析学1・2・3、常 微分方程式、力学1・2・3、基礎工学実験、工業数学1・2

#### ●専門科目

機械システム入門セミナ、材料力学1・2、熱力学1・2、流体力学1・2、機械力学1・2、工業力学、材料工学1・2、機械概論・加工学1・2、デジタルエンジニアリング入門、デジタルエンジニアリング1・2・3・4、ロボット工学、電気・電子工学1・2、プログラミング1・2、計測工学、制御工学、機械製図、機械要素、創造製作演習、機械加工実習、メカトロニクス実習、機械工学実験A・B、数値構造解析、自動車工学、流体機械、エネルギー変換工学、センサ・アクチュエータ工学、メカトロニクス工学、システム制御工学、エンジン工学、航空宇宙工学、オートメーション工学、ロボットプログラミング、コンピュータビジョン、工業経営概論、品質工学、科学技術史論と技術者倫理、知的財産権と情報倫理、インターンシップ(学外研修)、総合セミナ1・2、卒業研究

#### ●専門教育科目に関する資格

機械設計技術者/CAD利用技術者/基本情報処理技術者/産業用ロボットの教示等の特別教育(認定)

<b>- </b>	(2021年10月1日現在の教員組織を示す)
	研 究 テ ー マ
井原 禎貴 教 授	予混合圧縮自着火燃焼の現象解明と制御、非貴金属材料を用いた燃焼排ガス浄化
大嶋 和彦教授	圧電素子を利用したセンサおよびアクチュエータの 開発、3Dプリンタを利用した創造製作 指導担当
尾形 和哉 教 授	マニピュレータの接触作業解析、自律移動ロボットの知能化
小里 泰章 教 授	物体まわりの流れおよびはく離流れの制御、自動車の空力走 行安定性向上に関する研究
小森 和武教 授	金属加工における延性破壊過程の数値解析
坂倉 守昭 教 授	インテリジェント制御システムの研究、ロボットの動作学習 の研究、研削加工のシミュレーション技術の開発
篠原 主勲 教 授	宇宙衛星展開構造物シミュレータの開発/スポーツ計算工学 /最適化/GPUを活用した並列処理に関するハイパフォーマンスコンピューティング研究
溝口 正信 教 授	画像処理によるロボットの知能化とそれを実現する組込み制 御装置の開発
石田 敏彦 准教授	小型へリ安定飛行に関する解析、新幹線車両の空力解析、魚型ロボットの開発
吉田 昌史 准教授	軽金属の表面改質に関する研究、放電現象を利用した表面処理技術の開発
橋口 宏衛 講 師	冗長自由度アームの位置と力のハイブリッド制御、劣駆動関 節型倒立振子の安定化制御、ドローンの姿勢安定化制御



電力システム・高電圧電力機器/電気機器・電力変換・制御システム/電子実装・パワー半導体/環境工学・超伝導エレクトロニクス

### 「実学主義」の理念のもと 基礎を大切にした技術者の育成

社会のニーズは絶えず大きく変化し続けています。その中、中堅技術 者として企業を支える人材を育成するため、「基礎の力」を重視した教 育を行っています。 「基礎の力」は社会に出てから生涯にわたって、学 び成長をし続けるための基礎となると考えています。

#### 自動車の電動化時代をリードする人材の育成

急速に進む自動車の電動化に対して、モータやインバータに関係する 基礎教育を行っています。回路や電気磁気学のような基幹科目に加え、 エネルギー変換、半導体、制御などの応用科目を学べる体制です。さ らに研究室では、それらの先端的な技術に触れ、実践的な技術者を育 成しています。

#### 新しい電力エネルギーシステムを支える人材

太陽光発電や風力発電などの分散電源が基幹電源の一つとなり、IT 技術と融合したスマートな電力システムが現実となりつつあります。 一方、地震や台風など自然災害による電力インフラの脆弱性が大きな 課題となっています。このような多様なミッションにこたえることの できる確実な基礎力を備え柔軟な思考を持つエンジニアを養成しています。

#### 電気電子デバイスの基礎を支えるナノテク人材

ナノテクノロジーはエネルギー問題や環境問題に対するアプローチ技 術として注目されています。また電力エネルギーや制御分野において も様々な機能を有するナノテク材料の開発は欠かせません。ナノテク 材料として用いられる半導体・有機材料・グラフェンなどの新しい機 能性材料を中心とする物性を原子や電子のレベルで理解し、環境にや さしいデバイス開発・製造技術を担える人材を育成しています。

#### 専門科目

#### 専門基礎科目

線形代数1·2、基礎物理A·B、化学1·2、数学基礎、解析学1·2·3、常 微分方程式、力学1・2・3、基礎工学実験、電気電子数学1・2・3

#### ●専門科目

電気電子入門セミナ、電気回路理論1・2・3・4、電気回路理論演習、電気 磁気学1・2・3、電気磁気学演習1・2、電子回路1・2・3、プログラミン グ1・2、電気電子工学実験1・2・3・4、電気電子計測、電子回路1・2・3、 電子回路演習、コンピュータ工学1・2、電気法規、電気エネルギー発生工学、 エネルギー変換工学1・2、エネルギー伝送工学、パワーエレクトロニクス、 電気設備、ディジタル回路、センサ工学、制御工学1・2、ディジタル信号 処理、メカトロニクス、電気電子CAE、電気電子材料、電子物性1・2、半 導体デバイス工学1・2、電気電子設計製図演習、電気電子CAD演習、インター ンシップ(学外研修)、電気電子セミナ、セミナ、卒業研究

### ●専門教育科目に関する資格

電気主任技術者/電気工事士/陸上無線技士

# 専任教員紹介 (2021年10月1日現在の教員組織を示す)

		研 究 テ ー マ
赤池	宏之 教 授	超伝導電子デバイスの研究、低消費電力超伝導回路の研究
植田	俊明 教 授	電力システムの耐雷対策に関する研究
浦井	— 教 授	高電圧ブレーカーの設計および高性能化技術の開発、高気圧 アークプラズマおよび電気絶縁特性の研究
大澤	文明 教 授	多自由度アクチュエーターの研究、インバータ応用 就職 の研究、制御駆動系の開発 指導担当
川福	基裕 教 授	無線駆動車両を用いた車両パネ上振動制御、産業機器における振動 抑制制御、微小揺動運動時の摩擦挙動解析と摩擦外乱の抑制など
橋本	雄一教授	カーボン系触媒の研究、大気圧プラズマを用いた環境応用
服部	佳晋 教 授	パワー半導体の高性能化および高信頼化に関する研究、パ ワーエレクトロニクス回路の電磁ノイズに関する研究
山田	靖 教 授	パワー半導体用電子実装に関する研究、半導体ガスセンサに 関する研究
加納	善明 准教授	次世代自動車駆動用高出力密度モータの設計と制御、ハイブリッド自動車用 モータの高効率制御に関する研究、モータの高精度トルク制御に関する研究



#### キーワード 豊かな街づくり/建築と社会/建築の計画と設計/内装デザイン/建築の構造と材料/建築の環境と設備/歴史意匠

#### 「Dラーニング」による社会参画教育の実践

大同大学近隣の企業や住民の様々の要望に応えるかたちで、学生が自らの案を作成し、企業家や住民の方々とのコミュニケーションを通して案を実現していく「Dラーニング」(文部科学省現代GP採択)は、本学独自の教育です。この教育により、現実社会のなかでの実践力を養っています。

#### 技術者としての倫理観を重視

現実社会のなかで技術者として活躍し、より良い地域社会を築いてい くためには、技術者として高い倫理観が不可欠と考えます。この観点 に立脚した教育を行っております。

#### 実技科目の重視による職業意識の高揚

「建築設計」「構造実験」「材料実験」「CAD演習」「測量実習」など実技系の科目にも多くの時間を割り当てるとともに、「インテリアコーディネーター」をはじめとする各種資格の在学中取得を奨励し、職業意識の高揚に力を入れております。

#### プレゼンテーションの重視

創作系科目、実技系科目および演習系科目では、自らの思考やアイデアを他者に正確に理解してもらい実現していくために必要なプレゼンテーション力の育成に、力を入れております。

#### 専門科目

#### ●専門基礎科目

線形代数1・2、基礎物理A・B、化学1・2、数学基礎、解析学1・2・3、常 微分方程式、力学1・2・3、建築基礎数理1・2、情報リテラシ、建築 CAD1・2、建築プレゼンテーション演習、建築統計処理

#### ●専門科目

建築・インテリア入門セミナ、力と形演習、構造力学1・2、建築構法、建築材料、建築環境材料、構造・材料実験、建築法規、建築・インテリア図法実習1・2、造形基礎実習、建築遺産A・B、環境工学1・2・3、建築設備、建築の仕組み、空間文化論、行動空間学、建築企画論、都市計画、まちづくり論、建築デザイン論、建築デザイン史、維持・保全工学、建築生産1・2、建築測量学同実習、環境心理学、環境評価演習、建築計画1・2、骨組の解析法、建築デザイン基礎実習、建築設計1・2・3・4・5、コンクリート系構造、鋼構造、力とデザイン、構造設計演習、振動と塑性解析、鉄筋コンクリート構造演習、インテリア計画1・2、インテリアデザイン基礎実習、インテリアエレメント演習1・2、デザインマネジメント演習1・2、インテリア設計1・2・3・4、セミナ1・2、インターンシップ(学外研修)、卒業研究

#### ●専門教育科目に関する資格

建築士(1・2級・木造)/建築施工管理技士(1・2級)/土木施工管理技士(1・2級)/インテリアコーディネーター/福祉住環境コーディネーター/インテリアプランナー/カラーコーディネーター/キッチンスペシャリスト

		研 究 テ ー マ
宇野	享 教 授	都市構造の発見、都市再生手法の提案、各種建築の研究、設計
萩原	伸幸 教 授	空間構造の動的応答と非線形力学、振動学
武藤	隆 教 授	美術館、ギャラリーなどの展示空間、国際展における展示空 間
渡邊	慎一 教 授	室内外における居住空間の温熱環境評価
岡本	洋輔 准教授	心理、生理計測に基づく光環境の快適性評価
高橋	之准教授	鉄筋コンクリート造部材の性能評価、地震被害に関する研究
髙栁	伸一 准教授	スペイン帝国(16-18世紀)の軍事建築と都市、近世 の都市建設と築城に関する研究 指導担当
中島	貴光 准教授	考現学的アプローチによる空間分析、舞台美術および空間デザイン手法に関する研究・提案
藤森	繁 准教授	微・非破壊的手法による構造材の物性・耐久性の評価、伝統 木質構造に関する研究
船橋	仁奈 准教授	共有可能な価値観の発見・創出、対人関係による単位空間の 考察・提案
米澤	隆 准教授	人、社会という観点から、これからの建築思想、設計手法、 建築空間を創造する



国土強靭化/まちづくりDX/VR・GIS・CAD・測量/自然環境と防災/地盤環境浄化/資源循環/インフラ維持管理

#### 総合力を持つ土木系技術者、

#### 都市整備プランナーとなるための能力を養成

自ら問題を分析し、考え、行動・解決する能力(エンジニアリングデ ザイン能力)や技術者としての倫理感を養成する科目を段階的に配置 し、優れた土木技術者や都市整備プランナーとなるための能力を養成 しています。

#### 社会基盤施設の設計・管理能力の養成

都市施設・土木構造物の設計・施工・管理の基礎を学ぶとともに、景 観や環境に配慮した設計・施工法、都市防災システム、維持管理手法 など、様々な応用力を養い、実践的かつ先進的な土木技術者となる能 力を養成しています。

#### 都市・環境システムの設計・管理能力の養成

水管理や都市計画の基本を理解するとともに、河川等水環境の質・量 両面からの適切な評価・管理手法やコンパクトシティ計画などの最新 の都市整備手法を学び、これからの都市施設を適正に計画、管理でき る専門能力を養成しています。

### "まちづくり"を総合的に計画し、 実施できる能力を養成

測量学やCAD、GIS等のスキル・技術も身につけ、"まちづくり"のさ まざまな現場で活躍できる専門家として、実践的な活躍が期待できま す。卒業と同時に、「測量士補」の国家資格が得られます。

#### 専門科目

#### 専門基礎科目

線形代数1·2、基礎物理A·B、化学1·2、数学基礎、解析学1·2·3、常 微分方程式、力学1·2·3、基礎工学実験、基礎数理演習1·2、CAD演習1· 2、GIS基礎、応用数学、応用情報処理、VR基礎

#### ●専門科目

形と力1・2、構造システム解析学、土と地盤、建設材料学、地盤工学、環 境地質学、環境学基礎、水理学1・2、都市衛生システム、計画数理、都市 環境プランニング、土木・環境入門セミナ、都市環境設計、環境生態学、都 市環境プロジェクト、ランドスケープ設計、ビオトープ設計、測量学1・2、 測量実習、鋼構造デザイン工学、RC構造デザイン工学、都市地盤環境学、 都市環境実験A・B、地盤設計技術、維持管理工学、環境河川工学、環境マ ネジメント、地域・都市計画、交通計画、流域水文学、資源循環工学、輸送 システム、建設技術、まちづくり関係法規、エクセレントセミナ、建設マネ ジメント、都市防災システム、道路デザイン、環境アセスメント実習、都市 開発プラン実習、道路空間設計、技術者倫理、都市環境総合セミナ1・2・3、 卒業研究

#### ●専門教育科目に関する資格

測量士・測量士補/技術士・技術士補/コンクリート技士/土木・建築・造 園・管工事施工管理技士/ビオトープ管理士/再開発プランナー/公害防止 管理者

### 専任教員紹介 (2021年10月1日現在の教員組織を示す)

		研 究 テ ー マ
嶋田	喜昭 教 授	交通ネットワークの質的評価、都市施設整備の環境評価
鷲見	哲也 教 授	都市の水害安全度とまちづくり、河川環境の諸過程のモデル
棚橋	秀行 教 授	室内模擬試験装置を用いた油による地下水汚 染の浄化技術の開発
樋口	恵一准教授	移動空間・サービスの評価、安全・安心なまちづくり
木全	博聖講 師	社会基盤構造物の非破壊検査 2022年度 就職指導担当



#### キーワード 空気環境/生活環境/官能評価/においの測定/分析化学/食品とかおり/化粧品/化学工業/精油/建築設備

かおりデザイン専攻では、空間の快適性、食のおいしさ、人の心の状態に大きく関係する「におい・かおり」の基礎と「におい・かおり」の持つ役割に関する知識を修得し、「におい・かおり」を活用した豊かな生活がデザインできる力の取得を目標として、人材を養成しています。

具体的には次の5つの教育目標を掲げており、5つの目標を達成する ための授業を展開しています。

- (1) においかおりについて、嗅覚の仕組み、においの測定・評価方法、においの除去方法、かおりの活用などについての知識を修得する。
- (2) においの測定・評価、成分の分析が行える技術を取得する。
- (3) 香料の特性を理解し、適切な香りの調香が行える技術を取得する。
- (4) 快適な生活環境を創造するための環境要素についての知識と測定技術を修得する。
- (5) 生理学・心理学の基礎的な知識を修得する。

授業内容は「においの測定・評価・分析」「消脱臭技術」「調香技術」「生活環境・食品」「ひとの心と身体」などから構成しています。1学年の定員が25名の比較的小規模な専攻であるため、授業では個々の学生が確かな知識と技術を身につけられるよう個別指導を重視し、基礎から段階的に発展させていく手法を取っています。

かおりデザイン専攻に関連する資格として、におい分野唯一の国家資格である「臭気判定士」取得を目指す学生が最も多く、次いで「アロマテラピー検定」「福祉住環境コーディネーター」「カラーコーディネーター」などの資格試験や「毒物劇物取扱者試験」を受験する学生が多くおります。建築士受験を目指す学生は、必要単位を修得することで、卒業時に二級建築士の実務経験要件を満たします。

におい・かおりを専門に学ぶ全国初の専攻であるため、新しいことに チャレンジしたいという意欲あふれる学生が集まっています。

#### 専門科目

#### ●専門基礎科目

線形代数1・2、基礎物理A・B、化学1・2、数学基礎、解析学1・2・3、常微分方程式、力学1・2・3、化学基礎1・2、情報処理1・2

#### ●専門科目

かおりデザイン入門セミナ、キャリア開発1・2・3・4、プロジェクト演習1・2・3・4、においの数値解析1・2、住居学、生活環境学1・2、かおり成分と調香1・2・3・4、嗅覚の特性、嗅覚測定法、心理学概論、消脱臭原理、基礎製図、空間デザイン1・2・3、インテリア計画概論、西洋建築史、ランドスケープデザイン、力と形、構造力学、建築構造計画、建築概論、建築材料学、建築生産、建築物の維持・保全、建築の法規、建築設備演習、色彩論、生活環境評価演習1・2・3、食品とかおり、におい・かおり測定演習1・2・3、感覚生理・心理、アロマテラピー演習、脱臭性能評価演習、悪臭防止法、セミナ1・2・3、インターンシップ(学外研修)、卒業研究

#### ●専門教育科目に関する資格

臭気判定士/2級建築士/ハーブコーディネーター/アロマティラピー検定 /福祉住環境コーディネーター/アロマセラピスト/アロマコーディネー ター/カラーコーディネーター/毒物劇物取扱者

	研 究 テ ー マ
<b>颯田 尚哉</b> 教 授	自然素材の香り成分の有効活用、屋外の種々の現場における 臭気調査
光田 恵教 授	介護環境のにおいの評価と制御、におい評価の個人差の検討、 味覚と嗅覚の関係に関する検討
棚村 壽三 准教授	住宅および自動車内のにおいの測定法の開発、にお 就職 いの成分分析
<b>跡部 昌彦</b> 客員教授 元ポッカサッポロフード& ビバレッジ株式会社	食品のおいしさとかおりの関係に関する研究、生活環境にお けるかおりの活用方法の検討
<b>一ノ瀬 昇</b> 8員教授 ライオン株式会社	かおりの心理生理研究、においケア研究



#### コンピュータ技術者の養成を狙いとした教育

2002年に誕生した情報学科では、応用電子工学科、電子情報工学科 での教育経験と研究実績をもつ教員に、高度ソフトウェア技術、コン ピュータネットワーク技術を専門とする教員を加えて、コンピュータ 技術者を養成してきました。2008年には、より時代に即応したコン ピュータ技術者を育成するために、情報システム学科に移行しました。 今後も、コンピュータを扱う幅広い分野に人材を送り出していきます。

#### コンピュータ組み込みシステム技術

自動車、家電製品、情報通信機器などに組み込まれるコンピュータと そのソフトウェアに関わる技術者を養成するため、コンピュータ基礎 からソフトウェア技術、システム技術まで幅広く学習しています。そ れらの技術を基盤にして「モノづくり」のパワーを支えます。

#### 進化するネットワーク技術

今やネットワークは社会に必須なものとなっており、日々その進化を 続けています。ネットワークの高度利用のため、ネットワークの構築・ 運用・制御技術、ネットワーク上に流通するコンテンツ製作技術、セ キュリティ技術などを最新技術を含めて学習し、社会のネットワーク インフラを支えます。

#### ディジタルだから生まれる新しい発想と表現

人工物も自然物も、この世のすべてのものをリアルに描くことを追求 し続けてきたCG。しかしディジタルならではの新たな表現を生み出 す力と可能性も秘めています。そんな可能性を開く新しい発想と表現 が、今求められています。

#### 専門科目

#### 専門基礎科目

数学基礎、解析学1・2・3、常微分方程式、線形代数1・2・3、情報数学、 確率・統計、情報統計学、力学、電磁気学、情報システム入門セミナ、情報 概論、情報処理基礎、コンピュータハードウェア基礎、プログラミング入門、 情報ネットワーク概論、基礎電気回路

#### ●専門科目

プログラミング1・2、アルゴリズムとデータ構造1・2、数値計算法、コン ピュータアーキテクチャ1・2、オペレーティングシステム、情報ネットワー ク1・2、情報理論、オートマトン・言語理論、電気回路1・2、情報演習A・ B・C・D、ソフトウェア工学、データベース、信号処理基礎、コンパイラ 構成法、ネットワークプログラミング、通信工学、ディジタル信号処理、音 声画像処理、パターン情報処理、制御工学、ソフトコンピューティング、人 工知能、ディジタル回路、電子回路、組込システムプログラミング、リアル タイムシステム、オブジェクト指向プログラミング、コンピュータシステム、 情報セキュリティ、マルチメディアソフトウェア、CAD、コンピュータセ ンシング、コンピュータコントロール、コンピュータ最新技術、ネットワー クシステム、ネットワークコンテンツ、ネットワーク最新技術、技術者倫理、 知的財産権論、インターンシップ(学外研修)、セミナ1・2、卒業研究

#### ●専門教育科目に関する資格

基本情報処理技術者/CAD利用技術者/マルチメディア検定/ITパスポー ト/CG検定/ITコーディネータ

#### 専任教員紹介 (2021年10月1日現在の教員組織を示す)

	研 究 テ ー マ
朝倉 宏一教授	並列処理、分散処理、アドホック・ネットワークに関する研究
上田 浩次 教授	道路交通の計測・監視におけるセンサ応用に関する研究
君山 博之教 授	並列分散処理による超高速データ処理技術の確立と その応用 就職 指導担当
桑野 茂教 授	マルチサービスアクセスネットワーク、低遅延ネットワーク に関する研究
竹内 義則 教 授	3次元画像計測、音源定位、音源分離に関する研究
柘植 覚教 授	音声・話者認識に関する研究、音楽検索に関する研究
不破 勝彦 教 授	外乱抑制制御、極零点配置制御の設計法に関する研究
宮島千代美准教授	ドライバの運転行動のモデル化、運転の安全性評価に関する 研究
荻野 正雄 准教授	工学諸問題に関する数値シミュレーションと高度利用技術
横手 裕治 准教授	ハードウェア記述言語によるディジタル回路の設計・製作
芋野美紗子 講 師	言語知識ベースの自動作成、□語理解に関する研究
喜田 健司 講 師	高次ΔΣ変調を用いたデータ圧縮、情報通信技術への応用



#### キーワード グラフィックデザイン/WEBデザイン/CG/映像/コンピュータサウンド/メディア・情報ビジネス/コミュニケーション

#### グラフィックデザイン・Webデザイン

マスメディアから地域メディアまで幅広いメディアのコンテンツをデザインするグラフィックデザインに、インターネットのコンテンツをデザインするWebデザイン。ますます拡大する社会のニーズに応えるために、最新のデザイン教育環境を整備し、幅広い情報コンテンツのデザインができる個性豊かなデザイナーの育成に取り組んでいます。

#### CG·映像制作

最初に映像制作の基礎的な知識と制作進行の過程に於けるノウハウを学習した後、プロユースの業務機材を使い実践的な制作に入ります。企画書から脚本を起こし、実撮影、演出、編集、上映、講評を得て"映像とは何か"、"演出とは何か"を実体験として身につけることで、映像業界で活躍できる人材の育成を行っています。また、昨今の映像コンテンツの多様化を踏まえ、CGやプログラミングによるインタラクティブな要素を取り入れた映像制作、コンピュータとの連携など時代に即した学びの環境が整っています。

#### コンピュータサウンド

現代ではテレビドラマ、コマーシャル、テレビゲーム等、さまざまな音楽や効果音がコンピュータによって制作されています。それらはいったいどのように作られているのか。また音楽や音響学の知識を基礎にサウンドと現代人の生活にはどういう関係があるのかに迫ります。コンピュータを駆使して音楽を制作する能力と、それを人々の生活に応用する能力をもつ人材と、豊かなサウンド設計能力を持つ人材を育成しています。

#### 専門科目

#### 専門基礎科目

情報デザイン入門セミナ、クリエイティブビジネス基礎1、クリエイティブビジネス基礎2、自己表現1・2・3・4、社会と情報1・2・3、造形デザイン演習1・2、基礎デザイン論1・2・3、情報デザイン基礎実習A・B・C・D・E・F、基礎音楽論、コンピュータサウンド1・2、映像デザイン基礎1・2、コンピュータデザイン実習A・B・C・D、CGプログラミング1・2、CAD実習1・2、情報処理基礎、プログラミング1・2、コンピュータリテラシ、情報デザイン特別活動A・B・C・D

#### ●専門科目

デジタルグラフィックス実習A・B、視覚情報デザイン実習A・B、デジタルデザイン論A・B、視覚情報表現論、コミュニケーションデザイン論、メディアクリエイティブ実習A・B・C・D、メディアクリエイティブ論A・B・C・D、Webデザイン実習A・B、クリエイティブロークプロジェクトA、メディアコミュニケーション論A・B、製品デザイン実習A・B、応用CAD実習A・B、プロダクトデザイン論、材料と加工法論、デジタルプレゼンテーション論、空間デザイン論、情報デザイン論2、情報デザイン論3、クリエイティブワークプロジェクトB、ビジネスコンピューティング、プログラミング3・4、インターンシップ(学外研修)、専門セミナ1・2、情報デザイン研究1・2、卒業研究

#### ●専門教育科目に関する資格

CGクリエイター検定(2級・3級)/マルチメディア検定(2級・3級)/MIDI検定(2級・3級)/クローンジニア検定(2級・3級)/カラーコーディネーター(2級・3級)/アートナビゲーター/ITパスポート/基本情報技術者/イラストレーター クリエイター 検定/フォトショップ クリエイター 検定/応用情報技術者/パソコン検定試験(準2級)/CAD利用技術者(2級)/ウェブデザイン技能検定(3級)/知的財産管理技能検定(3級)/技術士補・技術士(受験資格は技術士補合格後、実務経験4年以上)/FE試験(PE1次試験)

#### コミュニケーションデザイン(広告、広報)

広告広報の世界では、日々新しい技法やメディアが生まれています。 又、モノが売れない時代とか、絆つくりの時代などと広告広報のありようも日々変化しており、改めてコミュニケーションのありようが問われています。 専門講義群では、歴史や産業構造・広告広報手法などのアカデミックな分野から、コミュニケーションを生み出す様々な見方や方法について学び、総合型講義群では、グラフィックやムービー・サウンドなどと連動した企画力を身につけることで、実際の社会に役立つコミュニケーション力を持つ人材養成を目指します。

#### メディア・情報ビジネス

現代の企業ビジネスや行政におけるメディア戦略や情報戦略は、企業経営や行政の根幹を左右する分野となっています。インターネット、マスメディア、DVDパッケージなどのメディアを通じて企業や行政が価値ある情報を創造・発信するために必要なクリエイティブ力、マネジメント力を持つ人材を養成しています。

#### 自己表現力・コミュニケーション力

さまざまなメディアが発達し気軽に人と繋がることが可能になった時代ですが、人間関係の土台となるのはFACE to FACEで肉声や表情を使ったコミュニケーション。ディジタルツールの時代だからこそ、自らの企画や思いを効果的に伝える"豊かな表現力"が求められています。どんな仕事においても重要な「人と関わる力」「自分を売り込む力」を持った人材の育成に取り組みます。

	研 究 テ ー マ
上岡 和弘教授	「クリエイティブで地域の課題と向き合う」・愛知 ブランド企業広報のための研究制作・社会的課題 解決のための研究制作
小高 直樹 教 授	コンピュータを用いた音楽制作、伝統音楽とコンピュータ ミュージックの融合
杉本 幸雄 教 授	CM、ドキュメンタリー、映画、ウェブ広告などの映像作品 全般に於ける制作
浅井 淳 准教授	生活情報(文字列、図形)の表象性・伝達性の様相分析
小島 一宏 准教授	話芸・映画・アニメ・肉体表現・SNSなど、さまざまな表現の研究、コミュニケーション力を向上させる話術や技法の研究
桐山 岳寛講 師	複雑な情報をより多くの人に理解しやすく、活用しやすくす ることを目的としたデザイン手法
原田 昌明講師	CGを活用した映像制作及びインタラクションを取り入れた インスタレーションなどディジタルコンテンツの研究



キーワード プロダクトデザイン/商品企画/3DCADモデリング/エンジニアリング/CGレンダリング/ハンドクラフト/ブランディング

### 時代にフレキシブルに対応できる実践クリエイ ターの養成を目指して

令和に入り、日本のモノづくりは大きく変革しています。製造業は「モノ」から「コト」へ新たな価値を創造し、グローバルでの生き残りをかけていく時代になります。そしてプロダクトデザイナーに求められる資質や期待も大きく変化しています。本専攻は下記三項目を重視し、実学主義に基づいたカリキュラム編成で"時代にフレキシブルに対応できる実践クリエイターの養成"を目指しています。

#### I. デザインカ

低学年ではデッサンやスケッチ、木材やクレイなど様々な素材を使ったモノづくり、さらにはグラフィックや映像、音楽など幅広いジャンルを学び、ものの考え方やプロセスを通しデザインの基礎知識、発想力、センスやノウハウを身につけていきます。

#### 2. IT応用カ

イメージを形にするツールとしてのCAD技術の習得はもちろん、3Dプリンター、切削系機器など、実践で経験できる環境がそろっています。またプロダクトデザインの範疇を拡大する情報分析、プレゼンテーションやプロモーションツールまで幅広いコンピュータ技術を学ぶことにより、Iot、AIなど将来における新技術に対しての応用力も身につけていきます。

#### 3. 問題解決力とコミュニケーションカ

"デザイン=問題解決である。"を常に念頭に、より良い商品やサービスを提供するために設定された実践的課題を経験し、あるべき姿を導き出す。段階的に難易度を上げ、繰り返し学ぶことにより、問題解決の思考力と人に伝えるためのコミュニケーション力を身につけていきます。

#### 専門科目

#### 専門基礎科目

情報デザイン入門セミナ、自己表現1・2・3・4、社会と情報1・2・3、造形デザイン演習1・2、基礎デザイン論1・2・3、情報デザイン論1、情報デザイン基礎実習A・B・C・D・E・F、基礎音楽論、コンピュータサウンド1・2、映像デザイン基礎1・2、コンピュータデザイン実習A・B・C・D、CGプログラミング1・2、CAD実習1・2、情報処理基礎、プログラミング1・2、コンピュータリテラシ、情報デザイン特別活動A・B・C・D

#### ●専門科目

デジタルグラフィックス実習A・B、視覚情報デザイン実習A・B、デジタルデザイン論A・B、視覚情報表現論、コミュニケーションデザイン論、メディアクリエイティブ実習A・B・C・D、メディアクリエイティブ論A・B・C・D、Webデザイン実習A・B、クロスワークプロジェクト、クリエイティブプランニング、Webデザイン論、マーケティングプランニング、メディアコミュニケーション論A・B、製品デザイン実習A・B、応用CAD実習A・B、プロダクトデザイン論、材料と加工法論、デジタルプレゼンテーション論、空間デザイン論、情報デザイン論2・3、情報デザイン、メディアワークプロジェクトビジネスコンピューティングプログラミング3・4、インターンシップ(学外研修)専門セミナ1・2、情報デザイン研究1・2、卒業研究

#### ●専門教育科目に関する資格

CAD利用技術者検定/CGクリエイター検定/パソコン検定/ユニバーサルデザインコーディネーター/色彩検定/マルチメディア検定/プロダクトデザイン検定/3Dプリンター活用技術検定

	研 究 テ ー マ
佐々木勝史教 授	車、モビリティ全般、スケッチ3D CAD手法の研究
横山 弥生 教 授	CGによる形態を応用した制作
岡田 心 准教授	伝統産業、素材、技術の特性や応用の研究
舟橋 慶祐 <sub>准教授</sub>	三次元CADとディジタルファブリケーションを活用した工業製品や家具のデザイン研究、デザイン・美術史の研究



#### キーワード 問題発見力/多面的な考察力/社会貢献/人間力/スポーツ科学/スポーツマネジメント

経営情報専攻では、"モノづくり王国"と呼ばれる中部地方において、 さまざまな業界で企業を支える人材を養成しています。

2012年度に開設された経営情報専攻では、情報コミュニケーション技術 (ICT) をベースに、経営、国際、環境、流通といった分野を幅広く学び、それらを積極的に活用できる人材を育成しています。

また企業の中で業務を遂行するためには情報、意思、感情を伝え合う 人間力が欠かせません。経営情報専攻では、職場において他者とのコ ミュニケーションを円滑かつ積極的に図ることができる能力を育成す るとともに、それらを実践の場で活用できるための環境を用意してい

経営情報専攻は、経営情報系とスポーツマネジメント系の二つの履修 モデルがあり、それぞれの系に応じた人材を育成しています。

#### 経営情報系

経営学、情報学、環境マネジメントに関する科目はもちろん、海外事情A(アジア短期留学)を科目として配置しており、ビジネスのグローバル化に対応できる人材を養成しています。また、少人数教育の下でのアクティブラーニングを取り入れたプロジェクト演習科目を3科目配置して、問題の発見から調査分析を経て解決方法の提案に至る社会人基礎力を養成しています。

#### スポーツマネジメント系

体育会系の学生を対象としたコースで、経営学、情報学、環境マネジメントに関する科目はもちろん、スポーツマネジメントに関する科目も配置しており、スポーツ実践をベースとした人間形成と同時に、コミュニケーション能力と情報活用能力に長けた、スポーツ文化を通じて社会に貢献できる人材を養成しています。

#### 専門科目

#### ●専門基礎科目

総合情報入門セミナ、コミュニケーションスキル1・2、情報処理演習1、データベース基礎、プログラミング演習1、情報統計学1、経営学概論、経済学入門、入門簿記、簿記原理、会計学、経営実践入門、経営実践1・2、スポーツ情報実践1・2

#### ●専門科目

キャリア開発1・2・3、経営情報プロジェクト演習1・2・3、スポーツ情報プロジェクト演習1・2・3、情報概論、異文化コミュニケーション1・2、経営史マーケティング概論、人材マネジメント、民法、会社法、交通論、企業経営戦略論、工業簿記、原価計算、データサイエンス概論、情報処理演習2、情報統計学2、プログラミング演習2、コーチング論、トレーニング論、スポーツ心理学、スポーツライフと社会、スポーツライフと栄養、スポーツライフと健康、スポーツ情報科学概論、スポーツライフのデータサイエンス、スポーツ測定評価法、ヘルスケアとスポーツライフ、スポーツコンディショニング、スポーツコンディショニング演習、データサイエンス演習1・2、キャリア開発4、プレゼンテーションスキル、経営情報論、管理会計論、経営実践3、スポーツ情報実践3、経営分析、ベンチャービジネス論、インターネットビジネス、物流論、中小企業論、国際経営論、金融と財務、労働法、知的財産権、環境経営論、スポーツと安全、スポーツマネジメント、海外事情A・B、インターンシップ(学外研修)セミナ1・2・3・4、卒業研究

#### 専門教育科目に関する資格

ITパスポート/ビジネス能力検定ジョブパス(2級)/簿記(2級,3級)/TOEIC/秘書技能検定/ロジスティクス・オペレーション(3級)/環境社会検定(ECO検定)

	研 究 テ ー マ
小澤 茂樹 教 授	効率的な貨物輸送体系(物流体系)の構築 指導担当
齊藤慎太郎 教 授	ハンドボール選手の体力特性
佐藤壮一郎 教 授	ハンドボールの一貫指導について
大東 憲二教授	大規模開発における環境影響評価
西﨑 雅仁教授	製造業における技術経営
伊藤 僚 准教授	降雨や風が運動中のヒトの体温・エネルギー代謝に 及ぼす影響について



# 大学院の沿革

わが国の産業が成熟・高度化した中で、これまで以上に高度で質の高い専門知識を修得した人材を必要とする 社会的状況となっています。これに応えて本学は1990年4月に大学院を設置し工学研究科に3専攻からなる修士 課程を開設しました。この実績をもとに1995年4月には、博士後期課程の材料・環境工学専攻を開設。また学部 の改組に関連して2005年4月には情報学部に情報学研究科を開設し情報学専攻を設置。2006年4月には工学研究 科の建設工学専攻が建築学専攻と都市環境デザイン学専攻の2専攻として開始。このように本学の大学院は設置 と改組を行うことで、社会や産業の変化に対応するとともに、高度な技術的人材の要請に応えています。

# 工学研究科 博士後期課程

#### 材料・環境工学専攻(就職指導担当:渡邊 慎一教授)

博士後期課程材料・環境工学専攻は、修士課程のいずれの専攻から も進学できます。この専攻では修了後、産業社会や研究教育分野に おいてリーダーシップを発揮する事ができる高度な技術力と豊かな 見識を併せ持つ人材の育成を目指します。このため材料・環境工学 に関する幅広い基礎知識の上に成り立つ高度な専門知識を修得する ことで、未知の分野を開拓し得る創造力と、課題を深く理解して取 り組むことができる能力を活かし、主体的で柔軟性を持ち俊敏に行 動できる高度な技術者を目指します。なお指導教員は院生の立場や 履歴に応じてきめ細かく個別的に指導しています。

# 工学研究科 修士課程

#### 機械工学専攻(就職指導担当:前田 安郭 教授)

機械工学専攻では、基礎学力を十分に身につけ、優れた応用開発能 力を持ち、創造性の豊かな機械技術者の養成を目的としています。 このため、学部での基礎学力を充実・高度化させるとともに、主動 的な課題解決能力と創造性を育成します。また、グローバルな視点 をもち、コミュニケーション能力とリーダーシップを備えた人材を 養成します。

#### 電気・電子工学専攻(就職指導担当: 植田 俊明 教授)

電気・電子工学専攻では、再生可能エネルギーの利用促進、自動車の 電動化、情報通信技術の拡大、新素材開発など、ますます多様化す る社会の要請に対して、柔軟かつ確実に対応できる技術者の育成を 目指しています。このため、カリキュラムは学部教育から連続性を 持たせた構成となっており、エネルギー・制御・材料の各専門性の 高い教育を行うとともに、幅広い知識と高い教養を備えた人材を養 成しています。



# 工学研究科 修士課程

#### 建築学専攻(就職指導担当: 萩原 伸幸 教授)

建築学専攻のカリキュラムは、より専門性の高い内容の科目に加え、 建築実務にも関連した科目から構成されています。社会のニーズに たえうるだけの独創性と柔軟性に富み、かつ倫理観の高い技術者を 世に送りだすことを本専攻の目的としています。意匠設計はもとよ り、環境および構造・材料施工の全般にわたる幅広い知識を身につけ、 生活と執務の器である建築において環境性能と質の高いデザインを 持ち、安全かつ持続可能な「建築環境」を創出するために、企画・デ ザインができる人材を養成します。

#### 都市環境デザイン学専攻(就職指導担当: 鷲見 哲也 教授)

都市環境デザイン学専攻は、人間の社会活動・生活の場である「都市」において、持続的発展可能な「環境」の創出や、安全・安心なまちづくりのため、社会基盤施設を広い視野から「デザイン」(=どのように作るのかを明確な思想と技術をもって決定)できる人材を養成しています。

「土木・環境コース」と「かおりデザインコース」からなり、「土木・環境コース」では、構造・材料学、地盤工学、水・環境工学、都市・交通計画学等の専門性を高め、国土・地域・都市の望ましい未来を想定して社会基盤整備に携わることができる技術者教育を行っています。「かおりデザインコース」では、におい・かおりの測定・評価・成分分析、におい・かおりの制御法、心理生理的影響等に関する専門性を高め、快適な住環境等が創造できる力を身につけるための教育を行っています。

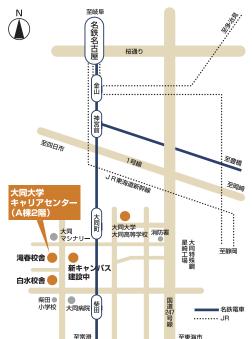
# 情報学研究科 修士課程

#### 情報学専攻(就職指導担当:桑野 茂 教授)

情報学専攻は、「情報システムコース」、「情報デザインコース」、「経営情報コース」の3つのコースから構成されています。近年、コンピュータならびにコンピュータ応用の情報処理が、周辺の科学技術と融合しながら、めざましく発展しつつあります。そして、生産活動はもとより流通・販売、文化・芸術、生活環境を含む人間社会に大きな変革をもたらしています。これらの変革から生じる多種多様なニーズに応えるため、高度な情報通信技術を駆使して社会に貢献できる人材が求められています。このため、本専攻では、コンピュータの基本原理と先進技術を理解して情報処理システムを開発・駆使できる人材、コンピュータを駆使して情報コンテンツ制作や製品デザインができる人材、経営と情報の複眼的な視点から社会や経済・経営における様々な問題を解決できる人材を養成しています。

# **DAIDO UNIVERSITY CAMPUS MAP** 12 8 10 2 V P P P P P P P 1 A棟:本館 9 M棟:図書館 2 B棟:第1講義棟 10 P棟:学生ロッカー棟 3 C棟:ゴビーホール 11 Q棟:第1クラブハウス棟 4 D棟:第1実験棟・UMEDIO・創造製作センター 12 R棟:第2クラブハウス棟 5 E棟:第2実験棟 13 S棟:第3講義·実験棟 6 F棟:第2講義棟 14 N棟:石井記念体育館 新校舎 7 G棟:研究支援センター・学生ホール 15 ゴビーステージ X(クロス)棟: 第4講義・実験棟 8 G棟:におい・かおり研究センター

#### 交通のご案内



名鉄名古屋駅から常滑線/準急で12分

大同町駅から徒歩3分 (中部国際空港・太田川・知多半田行き普通または準急電車)

# 新キャンパス、X棟 始動。 メインキャンパスとつながる新時代のキャンパス。 コモンズが充実しているから 様々な発想力やコミュニケーション能力が身につく メインキャンバスと渡り廊下でつながる 快適・短時間での移動が可能 大同大学

#### 求人のお申し込み・お問い合わせ



キャリアセンター

〒457-8530 愛知県名古屋市南区滝春町10-3

TEL 052-612-6230(直通) FAX 052-612-6251(専用)

URL https://www.daido-it.ac.jp E-mail shushoku@daido-it.ac.jp